

ゆるる
月刊

子育て中の
パパママの

悩みを
聞いて

あげますよ～

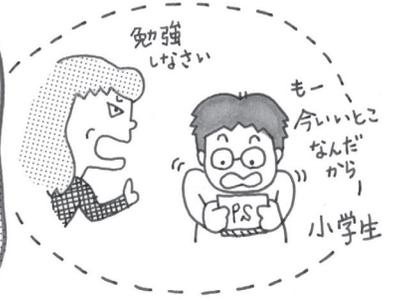


ママ
パパ
ライン

どうして...

どうすれば...

なんで...



●一人で悩まないで！ ママパパライン仙台
NPO法人せんだい杜の子ども劇場

●震災がきて救われたって思ってるんだよ。
NPO法人TEDIC

●あなたはそのまま素晴らしい存在です
NPO法人シャロームの会

みやぎNPOプラザからのお知らせ
ファシリテーション・グラフィックで会議を変えよう！

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



一人で悩まないで!



ママパパライン仙台

NPO法人 せんだい杜の子ども劇場
ママパパライン仙台担当理事 照井 和子

ママパパラインは、二〇〇三年に乳幼児を持つママやパパたちの子育ての悩みを共感的に電話で聴き、子育てを応援しようという、NPO法人子どもNPO・子ども劇場全国センターの呼びかけに、全国八ヶ所の子育て支援団体が賛同し、キャンペーンとして取り組んだのが始まりでした。東北では唯一せんだい杜の子ども劇場が、二〇〇四年二月三日〜九日の七日間『ママパパライン仙台』を開設しました。その後も数年間は年一回の『ママパパライン全国キャンペーン』の間だけ取り組んでいましたが、電話を終えるとき「このような電話があると助かりました。」というママたちからの声に対して、「またお電話かけてきてください。」と返せないスタッフのつらい思いもあり、二〇〇七月四月から毎週金曜日の一三時〜一六時に、翌年の四月から一〇時〜一六時に拡大し、常設として現在に至っています。

子育て中のママやパパたちの気持ちに寄り添う

当初、乳幼児を持つママ&パパを対象に考えていましたが、子育ての悩みは乳幼児期だけに限った

ことではなく、子どもの年齢が上がるとともに新しく問題は起きエンドレスなことから、対象を子育て中の養育者という視点に広げました。それにより小学生や中学生を子育て中のママやパパ・祖父母などからの話もお聴きしています。

「子育ては孤立して孤独な子育て」と言われて久しくなりますが、現実にはメディアやインターネットからのたくさんさんの情報にかえって不安を増長させ、自分の子育てに自信が持てないママたちが多くなってきました。「みんな上手に子育てしているのに私は…」こんなに頑張っているのに思うようにいかない。「誰からも褒めてもらえない、認めてもらえない。」周りのアドバイスが自分への批判に感じる。」など、どんどん自分を追いつめてしまっています。また子育ての悩みからママやパパ自身の悩み、夫婦関係・両親・親戚・友達との関係性にまで広がってくることもあります。



▶相談対応中のボランティア

H.26年度ママパパライン仙台実施状況
かかってきた件数：90件
受信時間：2,854分(平均：32分)

誰にも言えずに一人で悩んでいるママやパパたちが不安やグチ・イライラした気持ちを電話で話し、研修を積んだボランティアスタッフがアドバイスや指導的ではなく、かけてきた方の気持ちに寄り添い、受け止めながらじっくり聴く「傾聴」を基本にしています。それにより、かけてきた方は自分のことを理解してくれる人がいるという安心感と自分を認めてもらった肯定感で、ズーッと抱えていた重い気持ちや、スーッと軽くなるのを感じます。そして、本来その人が持っている解決への力を取り戻します。ママパパラインは『傾聴』によるエンパワーメントが高まる電話なのです。

チームで取り組む

『ママパパライン仙台』は、チームで行います。電話で直接傾聴する受け手と、受け手が安心してできるように背後でサポートする支え手、受け手・支え手へ専門的なアドバイスや指導をするスーパーバイザー、組織・運営面に関わるスタッフで構成されています。そのチームをカウンセラーや医師などの専門家がバックアップしています。

毎週金曜

日一〇時～一六時の開設時には、三人の受け手と一人の支え手が対応し、毎月一回の研修会では、全受け手・支え手・スタッフとスーパードバイザーとでケーススタディをしたり、受け手の戸惑いや悩みの共有、スーパードバイザーから専門的な視点でのアドバイスや『傾聴』の指導を受けています。年一回、新しい受け手の養成と従来の受け手・支え手・スタッフのスキルアップや研鑽を目的とした受け手養成講座を企画し、子どもに関わる専門機関から講師を招いて、七講座を集中的に行っています。子育て支援に関わっている方にも利用いただけるように参加をオープンにしているの、受講者からは大変内容も濃く学ぶことが多いと喜ばれています。

H.26年度電話受け手ボランティア養成講座

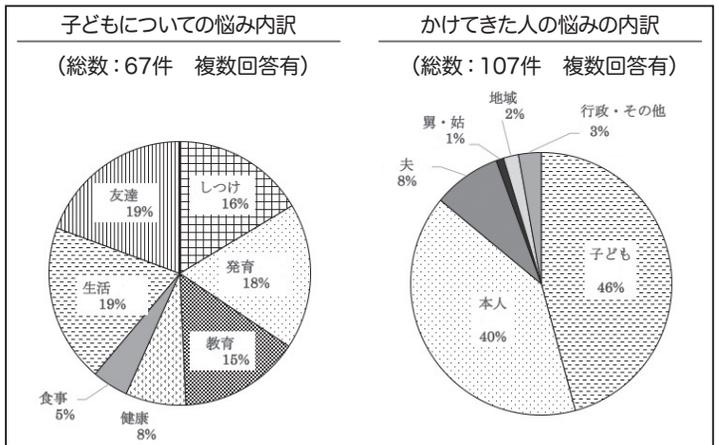
- ・傾聴ボランティアをする上での心得
- ・傾聴の基本とロールプレイ
- ・発達障害の理解と支援
- ・「自分」を知る
- ・子どもの共感性を育てる親支援
- ・虐待やDVなど悩みのある家庭への理解
- ・新しい電話受け手の基本講座



▲養成講座の様子

被災地でのママパライン

二〇一一年三月十一日(金)、まさに『ママパライン仙台』を開設している最中に東日本大震災が起きました。本箱が倒れ書類が散在した程度で、建物やその場のメンバーには大きな被害が無かったのが幸いでしたが、ラインはその場で中断し、翌週も電話回線が復旧せず開設できませんでした。『ママパライン仙台』のメンバーの中には自宅や親族が被害に合った方もいて、受け手・支え手の確保に苦労しましたが、できるメンバーで続けようと二週間後の二十五日から再開しました。しかし、しばらくの間は電話のベルが鳴らない日が続きました。三ヶ月ぐらい過ぎたころから少しずつ電話が鳴り出しましたが、「こんな大変な時に愚痴っぽいことを言うのは…」私よりもっと大変な思いをしている人がたくさんいるのにな、心の痛みに蓋をして頑張っているママたちの様子が覗かれませんでした。被害のひどかった宮城県沿岸部市町村の子育て担当課に伺い、ママパラインの趣旨説明と子育て関係施設にポスター・カードの配布をお願いしました。その



これからも

大震災から四年が過ぎ、表面的には日常生活が落ち着きを取り戻したかのように見えますが、傷ついた心を抱えたまま生活しているママやパパたちは、ふとしたきっかけで辛い記憶がよみがえって落ち込んだり、体調を崩しがちです。子どもたちも親の不安な様子を感じて我慢をしたり、無理して良い子を演じてストレスが表に出てくるという新たな問題が心配されます。また以前からあった子どもの発達上の問題についても、ますます敏感になり、不安や対応の困難さを訴える内容が多くなってきています。環境や時間の経過とともに、悩みの内容は少しずつ変わってきますが、常に電話をかけてくる方の気持ちに寄り添うことを心掛け、これからも真摯に電話に向き合っていきたいと思えます。

『ママパライン仙台』
 ●専用電話：022-773-9140
 ●毎週金曜日10～16時開設(年末年始のみ休み)
 NPO法人 せんだい杜の子ども劇場
 〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
 ●TEL：022-375-3548
 ●URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

震災がきて救われたって 思ってるんだよ。

NPO 法人 TEDIC 代表理事 門馬優

「語弊があるかもしれないけど、震災がきて、救われたって思ってるんだよ。」

この言葉に出会ってから、もうすぐ四年が経とうとしている。震災直後のある避難所で、当時中学校三年生だった男の子から発せられた言葉だ。

発災以前から一年以上不登校状態だった彼の家庭は、父親のリストラを機に崩壊。家庭内暴力、兄妹の家出、お酒に溺れる親に怯える毎日。家に閉じこもりながら、誰にも「助けて」と言えない日々が続いたという。

そしてあの日、津波から逃げるようにして、命からがら一家で駆け込んだ避難所。この避難所で、彼は「震災がきて、救われた。」と思うことになる。

「みんな学校に行っちゃったけど、大丈夫？何か嫌なことあった？」

学校再開後の避難所で、一人だけ登校せずにぼつんと座っている彼をみて、全国から支援に来てくださったボランティアさんが、話しかけてくれたのだ。

不登校になってしまったことへの後悔、自責、家庭の崩壊。

負のラベルを自分自身に貼付けてしまった彼にとって、助けを求め

る、相談をするといふことは、自分を曝け出すこと。

嫌われるかもしれない、ダメな人間だと思われるかもしれないという葛藤と常に隣り合わせだった。

「実は…そう語りだした彼の隣に座り、ただただ耳を傾け、「うんうん。」と話を聞いてくれたボランティアさんは、批判をするでもなく、評価をするでもなく、ありのままの一人の人間として彼を受け止めた。震災までずっと孤独を抱え続けた彼が、自分と向き合ってくれる人と初めて繋がれた瞬間だった。

●●●ひとりぼっちがいないまち、石巻、社会を目指して…●●●

「震災がきて救われたって思ってるんだよ。」とあの日、男の子が発した言葉が原体験となり、NPO 法人 TEDIC は「ひとりぼっちがいないまち、石巻、社会の実現」をビジョンに掲げ、事業を展



◀何気ない話から…

開いている。

三つのプロگرامを通じて、昨年度は石巻市内八カ所、年間のべ

一、〇〇〇人の子ども・若者たちに支援を届けてきた。

一つ目のプログラムは、石巻地区(石巻市、女川町、東松島市)で経済的に困窮している子どもたちや、学校や家庭などで孤立している子どもたちを対象とした学習支援プログラムである。

準要保護(就学援助)、被災による準要保護、要保護、児童扶養手当の受給世帯の小学生から高校生までを主な対象とし、放課後の公民館や学校の教室で個別の学習支援を届けている。

学習支援機能に留まらず、子どもたちにとっては貴重な居場所機能となっている。勉強の合間の休憩時間、学習時間後の自由時間になると、チューター(大学生ボランティアスタッフ)と学校や家



◀頼もしいチューターの皆さん

での悩みや不安、進路のことなどを語り始める。

被災による経済的困窮の影響もあり、保護者が子どもの声に耳を傾ける余裕はなくなり、一方でスクールバスでの登下校など放課後の時間が制約される中で、学校の先生にもその余裕はなくなっている。親でもなく、学校の先生でもない、チューターたちの存在は、子どもたちにとって貴重なお兄ちゃん・お姉ちゃんの役割だ。週一回、夕方の一八時〜二一時の間で、約一〇〇人の子どものうちもとへ届けている。

二つ目のプログラムは、不登校の子どもたちを対象としたフリースペースの運営である。

石巻地区で不登校状態にある小学生から高校生、また通信課程や定時制課程の高校に通う子どもたちを主な対象とし、現在では弊法人の事務所内に併設された「ほっとスペース石巻」でプログラムを届けている。

石巻市は現在、行政が運営する適応指導教室が一方所あるのみであり、民間のフリースクール・スペースが一つもなく、長く不登校の子どもたちの受け皿がなかった。週三日、平日の日中一〇時〜一五時で、現在登録している約

一〇人の子どもたちに支援を届けている。

三つ目のプログラムは、石巻市内の大学生を対象とした、中退予防支援プログラムである。

石巻市内で唯一の大学である石巻専修大学は、現在約一、〇〇〇人の学生が在籍しているが、昨年度の中退者数が約一〇〇人と、中退率が一〇%前後となっている。中学校時代に不登校経験や友人関係のつまづきを抱えていたなどして、定時制課程や通信制課程に進学していた学生も多く、地域の復興の担い手となる以前に、閉塞感のある大学生生活にストレスを感じ、ドロップアウトしてしまっている状況がある。そこで、大学の

一室を「カフェ」(のような空間)にデザインし、気軽

にふらつと訪れることの出

来る支援室を、この四月より大学と共同で運営している。オープ



あるはカフェ

ンから二週間で約二〇〇人、一日に一〇人前後の学生が訪れてくれている。学校生活の相談から、アルバイト、友人関係、サークル、ボランティアなど多岐にわたる不安や思いを受け止め、一緒に学生生活について考える。閉塞感のある大学コミュニティで息苦しさを感じている学生であれば、地域のNPOや市民活動への参加を後押しする。週四日、日中の一一時〜一七時の時間で、開室している。

被災者支援から、地域のセーフティネットづくりへ

日本の子どもたちのうち、一六・七%が相対的貧困状態にあるという「子どもの貧困」。不登校、いじめ、虐待、育児放棄、非行、様々な課題の背景に、この「貧困」が横たわっている。経済的資本の「貧困」はもちろん、社会的資本(ソーシャルキャピタル)の「貧困」も大きな課題だ。

昨年には国が「子どもの貧困大綱」を定め、つい先日には「子供の未来応援国民運動」の発起人集会が開かれ、現在は具体策の検討を行っている。被災地である宮城県石巻市にも、「貧困」は確実に広がっている。



門馬優さん

石巻市内の小中学生のうち、準要保護世帯が約一〇%、被災による準要保護世帯が約三〇%、要保護世帯も含めると約四割が経済的困窮世帯(二〇一四、石巻市教育委員会)となっている。

子ども自身への関わりだけでなく、親御さんも含めた包括的な支援が求められる。お金、仕事、心の病み、複雑に絡み合ったケースを紐解いていくためには、学校や専門機関、市民団体を巻き込んだ連携が不可欠である。

地域・社会全体でどのように支えることが出来るのか。これからも石巻市で目の前の子ども・若者たちと向き合いながら、考えていきたい。

特定非営利活動法人TEDIC

〒986-0826 宮城県石巻市鑄銭場8-23 日和ビル2階-B

●TEL : 050-3154-3377(事務所)
070-6430-5120(生徒/保護者専用)

●FAX : 022-774-2360

●E-mail : info@npo-tedic.net

●URL : http://www.tedic.jp

あなたはそのまま素晴らしい存在です

NPO法人シャロームの会



厚労省が平成二十五年度に実施した障害者雇用実態調査によると、従業員規模五人以上の事業所に雇用されている障害者数は六三万一、〇〇〇人。内訳は、身体障害者が六八・六％、知的障害者が二三・八％、精神障害者が七・六％、と精神障害者の就労が低い結果となっています。

その理由として精神障害者の状態が安定しないことや、こまめに医療機関へ通うことが必要であることに加え、職場の理解と、働く中で困ったことや感じたことなどを気軽に相談できる理解者などが必要とされています。

そのような社会的課題に対して、平成十五年からは障がい者の就労支援活動を始め、今では五つの事業所で就労支援事業をしているNPO法人があります。

多機能型の支援

『障がいがあってもなくとも、社会の中で様々な生き方の選択肢が選べるようになること。障がいをもった方々が地域の中で安心して自分らしく暮らせるために、社会の偏見や先入観が少しでも軽減すること。』を目指し、障がい福祉サービス事業所を運営しているN

PO法人シャロームの会は、「どんな時もあなたはそのまま素晴らしい存在です」という理念のもと、一人ひとりの限らない可能性と個性を尊重しながら、それぞれの人生の夢を叶える会として活動をしています。

「心の障がい」「困ったこと」と捉えずに、その方の「ありのままを受け入れて共に働く」ことを通して、自分のなかの生きずらさや弱さを受け止められるようになり、次第に他者も受け入れ共に働けるようになっていきます。これまで数十名の方々が社会に飛び立ち、地域の事業所で元気に働いています。」と理事長の菊地茂さん。

能力成果主義の社会のレールから一旦外れると、まだまだ職場復帰が困難な場合が多いと考えるシャロームの会は、次の三つの支援を段階的に提供する多機能型の支援をしています。

- ①生活のリズムを整え、日常の生活訓練をする(生活訓練)
- ②自信を回復して、地域社会に参加をしながら就労の訓練をする(就労移行支援)
- ③就労継続支援A型・B型
就労継続支援事業とは、通常の事業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供

するとともに、生産活動やその他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業の事を言います。雇用契約を結び利用する「A型」と、雇用契約を結ばないで利用する「B型」の二種類があります。

続けて働くために

会が運営している事業は、障がい者サービス事業所アトリエぶどうの木として「就労継続支援B型」太陽とオーリーブ、「カフェ・



▶カフェ・オーリーブガーデン

▶オリーブの風



オリーブガーデン」、障害者福祉サービス事業所オリーブの樹として〈生活訓練〉「みどりの牧場」、就労移行支援「オリーブの風」、就労継続支援A型「キッチンハーモニー・ポコ」の五事業。各店舗から職場復帰や外部就労を希望する人の就労支援もしています。

「特に精神の障がいをもった方々は、地域社会になかなか溶け込めずに一人悩んでいる方も多いのですが、当会では地域のボランティアさんに活動と一緒に参加していただき、次第に社会との接点が生まれます。また四店舗の喫茶店・レストラン・お惣菜店も地域

に開かれ、みなさまに愛されご利用いただき、利用者さんたちもお客様との交流を通して社会参加させていただいています。」と、菊地さんは地域の一員としての関わりを大事にしています。

●●● 地域で暮らす

障がいを持っている方への地域での住まいやグループホーム等がまだまだ不足していると感じ、会に一つグループホームを作りました。現在六名の男女がキッチンハーモニー・ポコのビルの二階、四階に住んでいます。ビルのオーナーが階下の店で一緒に働いている程、地域に馴染んだグループホームです。

長期入院から一人暮らしを始めた方や、家族と暮らし始めたが将来の自立に備えて、という方もいます。

今後、地域に根付いたグループホームを増やしていきたいと、日頃から市内の就労支援事業所やグループホームを運営している事業所との連携を図っています。

このように就労支援や生活支援をしている中で、利用者は、「私もOK、あなたもOK」という安心感の中で、今まで希薄だった人

◀キッチンハーモニー・ポコ



との関係がどんどんと広がっていくように見えます。

また月一回の家族会でも、皆さん和気相合いと情報交換や交流を深め、そうした家族の理解が何より利用者さんたちの元気の元となっています。

こういった活動を知らないまま、家に閉じこもっている当事者の方がまだまだいることを残念がる菊地さんは、「身近に一人で悩んでいる方がいたら、私たちの様な活動があることを知らせてほしい！また、是非、ボランティアとして余裕のある時間だけでも活動

や行事に参加してもらいたい」と呼びかけています。
 会は、将来的には、障がい者だけでなく、社会的弱者と言われている高齢者・女性・外国人の方々とも一緒に働ける社会的企業を目指していくを考えています。

(文責：大久保朝江)



NPO法人シャロームの会 事務局

- 〒984-0051 仙台市若林区新寺2-3-1 長屋ビル
- TEL : 022-293-4345
- FAX : 022-293-4346
- E-mail : sharoomudesu@mountain.ocn.ne.jp
- URL : <http://www.sharome.net/npo/>

ファシリテーション・グラフィックで 会議を変えよう!

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPO
プラザからのお知らせです。

NPOの運営に会議や打合せは欠かせないものですが、「何時間話し合っても決まらない」「話がそれる」「声の大きい人の意見が通ってしまう」などの悩みを抱える団体が案外多いのではないのでしょうか。

そこで、話し合いの場を最大限に活かす方法を学ぶため、NPOプラザでは、三月十三日(金)に「会議が変わる!ファシリテーション・グラフィックを学ぼう!」を開催しました。講師は、NPO法人日本ファシリテーション協会フェローの徳田太郎さんです。

ファシリテーション・グラフィックとは?

会議や打合せなどの場で、話し合いの流れを参加者に見えるように書き出し視覚的に表現することで、話し合いを促進する手法です。発した言葉は一瞬で消えてしまいます。そのために、議論がそれたり、「言った」「言わない」の争いや堂々巡りが起きがちです。

しかし、話し合っていることを参加者に見える状態にしていくと、話し合いの流れや内容に共通認識を持つことができるため、議論が噛みあい脱線しにくくなります。

また、話し合いでは「何を言ったか」よりも「誰が言ったか」が影響力を持つことがあります。書くことで発言者と発言内容が切り離され、意見自体に焦点が当たり、議論が活性化する効果もあります。

そのポイントは?

まず、ホワイトボードや模造紙を参加者全員から見える位置に準備し、ペンを用意します。重要なポイントは、①皆が見えるところに書く、②皆に見えるように書く、③リアルタイム(同時進行)で書く、



▶話し合いを書き出して会議を「見える化」

の三つです。

話し合いの進行に合わせ、出された意見を書き出していきますが、「綺麗に書かなければ」と思う必要は全くありません。この手法の最大の目的は「話し合いを促進すること」なので、参加者が分かればOKです。

さらに分かりやすくするための工夫として、文字だけでなく矢印や図などを使うこと、単語だけを並べず「何がどうなのか」を書くことなどが挙げられます。

また、リアルタイムで書くことが重要なので、漢字を忘れても流れを止めずカタカナ表記にするといったコツもあります。

上達するためには?

「場数を踏み、経験を積むことが大切。テレビ番組を見ながら、それを書き留める練習をすることも効果があります」とは徳田さんからのアドバイスです。

ファシリテーション・グラフィックを活用して、得るものが少ない会議からの卒業を目指しましょう。

プラザのNPO無料相談

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談

毎週水曜日 13:00~17:00

会計・税務相談

5/26(火) 13:00~17:00

コミュニティ・ビジネス相談

6/9(火) 13:00~17:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



真如苑 市民防災・減災活動公募助成

- 助成対象：国内で起こる災害に「備える」、生命を「守る」ための活動、災害後の生活再建へ「つなぐ」ための活動
- 対象団体：NPO法人、学校法人、社会福祉法人、ボランティアグループ等の市民主体の公益的な団体
- 助成金額：1事業 上限50万円(助成総額800万円)
- 応募締切：5月15日(金)必着
- 連絡先：真如苑「Shinjoプロジェクト」市民活動公募助成事務局
TEL：042-538-3892
URL：<http://shinjo-project.jp/koubo/bosai.html>

東日本大震災現地NPO応援基金[特定助成] 大和証券フェニックスジャパン・プログラム2015

- 助成対象：東日本大震災の復興支援(被災者の生活再建等の支援)を行うNPOの人材育成による組織基盤強化事業
- 対象団体：岩手県、宮城県、福島県等において被災者の生活再建を長期的な視点で支援する「現地NPO」で、特に次の目的を持つ団体
1)社会的に弱い立場にある被災者の生活再建を支援
2)被災者の安心・安全な居住・生活基盤の再建を目指した復興まちづくりを支援
- 助成金額：1件あたり500万円以内
- 応募期間：5月14日(木)～5月21日(木)必着
- 連絡先：NPO法人市民社会創造ファンド
「大和証券フェニックスジャパン・プログラム」事務局(担当：神山、山田)
TEL：03-5623-5055
URL：<http://www.civilfund.org/>

第32回「老後を豊かにするボランティア活動資金助成」

- 助成対象：地域に根ざした、高齢者を主な対象としたボランティア活動の支援を目的に、その活動に継続的に使用される用具、機器類の取得資金を助成
- 対象団体：高齢者を主な対象として活動を行っているボランティアグループ(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1グループにつき10万円上限(計120グループ程度を予定)
- 応募締切：5月22日(金)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人みずほ教育福祉財団 福祉事業部
TEL：03-3596-4532
URL：<http://www.mizuho-ewf.or.jp/>

平成27年度 第2期 公益財団法人仙台観光国際協会補助金

- 助成対象：仙台市内または国外で行われる国際交流、多文化共生、国際協力活動、異文化理解を促進する事業
- 対象団体：主に仙台市内で活動し、構成員の半数が仙台市内在住か、通勤・通学している団体
- 助成金額：上限10万円
- 応募締切：5月29日(金)
- 連絡先：公益財団法人仙台観光国際協会 国際化事業部

TEL：022-268-6260(平日9:00～17:00)
URL：<http://www.sentia-sendai.jp/>

赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(第17次)

- 助成対象：・東日本大震災で被災された方々を支援するボランティア活動等全般
被災地における活動に加え、日本全国の被災者の避難先における活動も対象とします。
- 対象団体：被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災された方々への救援、支援活動を現に行うボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学校法人、公益法人等(詳細は下記URL参照)
- 助成金額：1)短期(30日未満)：50万円以内
2)中長期(30日以上)：300万円以内
3)重点活動助成(350日以上)：1000万円以内
- 応募期間：5月15日(金)～5月29日(金)必着
- 連絡先：社会福祉法人中央共同募金会 企画広報部(ボラサポ担当)
TEL：03-3581-3846(代表)
URL：<http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html>

平成27年度(第41回) 丸紅基金 社会福祉助成

- 助成対象：社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動等)を行う民間団体が企画する事業
- 対象団体：非営利の法人であること(ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする)
- 助成金額：1件あたり200万円上限
- 応募締切：5月31日(日)当日消印有効
- 連絡先：社会福祉法人丸紅基金
TEL：03-3282-7591・7592・7287
URL：<http://www.marubeni.or.jp/>

平成27年度 伊藤忠記念財団子ども文庫助成

- 助成対象：民間の団体・個人による、子ども達への読書啓発・読書指導・読書支援活動等
- 対象団体：1)子ども達の読書啓発、指導を行っている民間の団体または個人。(3年以上の活動歴があり、今後も継続的活動が期待できる方)
2)小児病棟で長期にわたり難病と闘っている子ども達や、心身障害児施設、養護施設等の子ども達に対し、読書支援活動をされている団体または個人。(今後も継続的活動が期待できる方)
- 助成金額：○子どもの本購入費助成、病院・施設子ども読書支援購入費助成：1件につき30万円(併せて50件予定)
○子どもの本100冊助成：15万円相当の、財団が選定した子どもの本100冊セット(25件予定)
- 応募締切：5月31日(日)当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人伊藤忠記念財団 助成事業部
TEL：03-3497-3651(平日9:00～17:00)
URL：<http://www.itc-zaidan.or.jp/>

い」「今の状況を変えたい…」そんな働きづらさや生きづらさを感じているシングル女性のための、社会に出る準備講座です。

- 日時・場所：各日AM10:30～12:00 PM13:00～14:30
- ①6月8日(月)
PM オリエンテーション、自己紹介
- ②6月9日(火)
AM 社会とわたし～自分を大切にすること
PM ガールズカフェ
- ③6月11日(木)
AM 自分を考える～自立のための気持ちの整理
- ④6月12日(金)
AM 自分のための朝食メニュー【料理】
PM ガールズカフェ
- ⑤6月15日(月)
AM わたしを好きになるメイクアップ
PM ガールズカフェ
- ⑥6月16日(火)
AM わたしのからだを大切に
- ⑦6月17日(水)
AM こころとからだほぐし
PM ガールズカフェ
- ⑧6月18日(木)
AM 働くとき最低限知っておきたい法律、相談先
PM 働く準備に向けて～職場体験実習などの案内
※ガールズカフェはリラックスした雰囲気の中で近況や悩みなどをおしゃべりする会です
- 場 所：エル・ソーラ仙台(AER28階)、他
- 定 員：15歳～39歳までの無職でシングル女性30名
※パートナーやお子さんのいる方は対象外
- 参加費：3,000円(賛助会員は2,700円)／全8日間
※減額制度有。お問合せください
- 申込方法：エル・ソーラ仙台やエル・パーク仙台などで配布している申込書に記入し下記まで郵送または持参
申込書は下記URLからダウンロード可能
- 申込締切：6月1日(月)必着(応募多数の場合は抽選)
- 説明会：5月18日(月)13:30～14:30(申込不要)
会場：エル・ソーラ仙台 研修室(AER28階)
- 主 催：公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 連絡先：エル・ソーラ仙台 ガールズ講座担当
TEL：022-268-8044(平日9:00～17:00)

6/10 障害のある人もない人も暮らしやすい まちづくりを考えるワークショップ 「ココロン・カフェ」

.....
仙台市では、「共生社会」の実現のために、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例の制定について検討しています。条例の検討にあたり、障害の有無にかかわらず、市民

の皆さんと一緒に理解を深め、意見交換を行う場として、ワークショップを開催します。

- 日 時：①6月10日(水)10:00～12:00
②6月13日(土)14:30～16:30
- 場 所：①仙台市職員研修所(泉区役所内)2階大研修室
(仙台市泉区泉中央2-1-1)
②仙台市役所 本庁舎8階ホール
(仙台市青葉区国分町3-7-1)
※公共交通機関でお越しください。
- 内 容：第2回障害者施策推進協議会の検討内容について、ワークショップ
- 申込方法：下記連絡先までTEL・FAX・E-mailで申込み
- 申込締切：6月3日(水)
※託児(未就学児)、手話・通訳・要約筆記が必要な方は、5月26日(火)まで申込み
- 主 催：仙台市、仙台市障害者施策推進協議会
- 連絡先：仙台市健康福祉局健康福祉部
障害企画課企画係
TEL：022-214-8163 FAX：022-223-3573
E-mail：fuk005330@city.sendai.jp

6/14 傾聴ボランティア公開講座 「ライフ・ステージにおける課題と危機」

.....
震災から4年が経過した今、自分のライフ・ステージの課題を考えてみませんか？ライフ・ステージとは、幼年期、児童期、青年期、老年期など年代に伴って変化する生活段階のこと。それぞれの段階で、さまざまな課題があると言われていきます。ライフ・ステージにより変化する生活環境のなかで、自身がいかにか生きるかを一緒に考える、そんな講座です。

- 日 時：6月14日(日)13:00～15:00
- 場 所：仙台市シルバーセンター 7階 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 講 師：菊池 武尅氏(東北大学名誉教授)
- 参加費：500円(資料代)
- 申込方法：申込不要。直接会場にお越しください
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL/FAX：022-343-9705
携帯：090-6253-5640
E-mail：moriyana-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaikeicho.web.fc2.com/

情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、**掲載は無料です!**
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴ヶ岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

編集後記

新緑シーズン。外へ出る機会が増えるとともに、楽しい催しも各地で増えてくる季節になりました。本誌のinformationページ(P.10-15)でも、市民活動に関わるイベントやボランティアの情報をご紹介します！さまざまな出会いや新たな分野を知るきっかけにもなる市民活動やボランティア活動。ここ最近、身近な社会貢献の場としても、注目が高まっているそうです。皆さんもちょっとした空き時間を使って、はじめてみませんか？(阿部)

3月に事業年度が終わり、総会の資料準備や、総会を行う団体さんを、4月にみやぎNPOプラザで多く拝見しました。事業報告・決算報告は、団体の活動を広く知ってもらうためにも、欠かせないもの。その大事な決算報告の作成をはじめ、団体の会計を「会計サポーター」がお手伝いします。これから初決算を迎えるのが心配…、仕訳や帳簿の作成を見直したいな等という団体の皆さん、ぜひご活用ください。詳細は、裏表紙をご覧ください。(村上)

- 日 時：5月29日(金)14:00～15:30
- 場 所：鶴ヶ谷市民センター(元みやぎ生協鶴ヶ谷店2階)
- 講 師：岡 希太郎氏(東京薬科大学名誉教授・薬学博士)
鈴木 聡氏(NPO法人HAB研究機構事務局長・理学博士)
- 参加費：無料
- 主 催：つるがや元気会
- 連絡先：ひまわり手芸店(担当：芦澤)
TEL：022-251-5663

5/30 第16回チャリティー駅伝大会 ～子どもたちの夢を応援しませんか？～

.....
私たちは、難病の子ども達の夢をかなえるボランティア団体です。開催の収益金はすべて子ども達の夢実現のために使われます。皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日 時：5月30日(土)雨天決行
(走行が危険と判断せざるを得ない場合は中止)
受付9:00～9:30 / 開会式9:40～ / 第一走者
スタート10:00～ / 表彰式11:30～(予定)
- 場 所：榴ヶ岡公園(仙台市宮城野区五輪1丁目)
※公共交通機関、近隣駐車場をご利用ください
- 参加費：大人1名2,500円
学生1名(小・中・高・大学生)1,500円
※参加賞、損害保険費用含む
※参加費(チャリティー費)はすべて難病の子ども達のために寄付されます
- 申込方法：①下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、住所、氏名、TEL、チーム名をご記入ください
②参加費を下記郵便振込口座までお振込ください(チーム名を必ず記入)。申込確認後、当日のご案内をお送りします
◆郵便振込口座番号：02220-4-117505
口座名義：メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン
- 申込締切：5月15日(金)
- 定 員：70チーム(定員に達し次第締切)
- 連絡先：一般財団法人メイク・ア・ウィッシュ オブ ジャパン
仙台支部「駅伝」係
TEL/FAX：022-262-3350
E-mail：sendai@mawj.org

5/30 子どもの声を聴く「チャイルドライン」 電話受け手ボランティア養成講座 (全4回講座)

.....
いじめ、虐待、不登校、震災の影響など、子どもの問題を学び、傾聴のトレーニングを受けたのち、チャイルドラインの受け手ボランティアとして活動するための講座です。子ども達の声を聞くボランティアとして活動してみませんか？

- 日時・場所：①5月30日(土)一般公開講座
A 10:30～12:30「オリエンテーション 見落とされやすい子どもの権利を守るために」
B 13:15～15:15「いじめ・不登校・被災した子どもを支える」
C 15:30～17:30「子ども虐待の予防を考える」
②5月31日(日)一般公開講座
D 10:00～12:00「チャイルドラインからみえる子どもの現状・傾聴について」
E 13:00～15:00「子どもと性『子どもに伝えたい性・子どもをとり巻く性の問題と基礎知識』」

- F 15:15～17:15「思春期の悩み「子どもの問題行動と暴力・電話における性暴力」
- ③6月13日(土)電話受け手希望者のみ受講可
J 10:00～16:00「ロールプレイ研修1(2)」
- ④6月14日(日)一般公開講座
G 10:00～12:00「保健室からみる子どものからだところ」
H 13:00～15:00「発達障害について」
I 15:15～16:15「修了式」
(全講座(A～H)受講者のみ今後の活動について)
※希望講座1コマから受講可能
全講座修了者には、修了証書を授与

- 場 所：日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)2階研修室2(仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5)
- 対 象：関心のある方ならどなたでも
- 定 員：40名
- 参加費：無料
※活動を始める際は、チャイルドラインみやぎの会員となり、1口2,000円/年の会費を納入していただきます
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、お名前、住所、TEL、希望する講座(A～H)、年齢、学校と学年(学生の場合のみ)、電話受け手ボランティア希望有無をお知らせください
- 申込締切：5月27日(水)
- 主 催：NPO法人チャイルドラインみやぎ
- 連絡先：TEL/FAX：022-279-7210
E-mail：c.l.miyagi@viola.ocn.ne.jp
URL：http://cl-miyagi.org/

6/6 第3期「女性のための防災リーダー 養成講座」(全5回講座)

.....
3月に仙台市で開催された国連防災世界会議では、被災地からの経験と教訓が国内外に発信され、特に防災・減災の担い手として女性のリーダーシップの重要性が強調されました。防災活動に取り組む意欲ある女性の参加をお待ちしています。

- 日時・場所：各日13:30～16:00
①6月6日(土)「防災・減災と男女共同参画」
②6月16日(火)「仙台市地域防災計画を知ろう」
③6月30日(火)「震災後の心のケアに取り組む」
④7月14日(火)「震災で何が起きているか
DVと児童虐待」
⑤7月26日(日)「災害時、こんな時の対応は…」
ワークショップ
- 定 員：先着順(仙台市内居住の女性30名、仙台市外居住の女性若干名)※全回参加できる方
- 場 所：エル・ソーラ仙台 大研修室(AER28階)
※⑤のみエル・パーク仙台 セミナーホール
- 参加費：無料
- その他：事前説明を受けていただきます。受講希望の方は、下記連絡先までご連絡ください
- 申込方法：TEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催：NPO法人イコールネット仙台
- 連絡先：TEL：090-1398-5065(担当：佐藤)
FAX：022-271-8226
E-mail：emuna@ve.cat-v.ne.jp
URL：http://equal-net.jimdo.com/

6/8 ガールズのしごと ゆる～り準備講座

.....
「小さいころから人間関係が苦手」「なかなか仕事が長続きしな

5/23 Aiどんどこ市2015

バリアフリーなアートを楽しみながら、福祉サービス事業所・一般参加者が日頃の活動成果を発揮する場です。ぜひお越しください。

- 日 時：5月23日(土)、24日(日)10:30~17:00
- 会 場：勾当台公園(県庁側)
- 内 容：福祉サービス事業所や一般の参加者による、出店やステージパフォーマンス、アートワークショップを行います
- 主 催：一般社団法人アート・インクルージョン
- 連 絡 先：担当：山田
TEL：022-797-3672 FAX：022-797-3673
E-mail：office@art-in.org
URL：http://art-in.org/

5/23 5/25 ①きょうだい支援ファシリテーター養成講座 ②きょうだい支援講演会

障がいのある人のきょうだいを支援するプログラムを運営するにあたってぶつかった課題や工夫を分かち合い、それぞれのプログラムをより良いものにしていくこと、支援プログラムを運営する人(ファシリテーター)を増やすための養成講座、講演会を開催します。

- ①きょうだい支援ファシリテーター養成講座
～仙台ワークショップ～(2日連続開催)
- 日 時：1)5月23日(土)13:30~18:00(13:00~受付)
・講義(23日のみの参加可)
2)5月24日(日)11:00~17:00(10:30~受付)
・ワークショップ(23日の講座参加者対象)
 - 定 員：1)65名/2)25名
 - 参 加 費：各日1,000円
 - 申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailで申込み
申込み時、参加者氏名、所属、参加日、連絡先(TEL・E-mail)、24日参加希望の場合はアレルギー(生クリーム・チョコレート)の有無、講師への質問をお知らせください
- ②きょうだい支援講演会
- 日 時：5月25日(月)10:00~12:00(9:30~受付)
 - 内 容：講演「きょうだい支援の必要性とは」
～「きょうだい支援を広める会」の活動からのメッセージ～

- 定 員：65名
 - 参 加 費：500円
 - 申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailで申込み
申込み時、参加者氏名、所属、懇親会参加有無、連絡先(TEL・E-mail)、講師への質問をお知らせください
 - 懇 親 会：講演会后、講師を囲んで昼食・懇親会を開催。
(弁当代として別途700円)
- 【共通事項】
- 場 所：仙台市福祉プラザ11階 第1研修室
(仙台市青葉区五橋2-12-2)
 - 講 師：有馬 靖子氏(「きょうだい支援を広める会」代表)
清田 悠代氏、眞利 慎也氏(「しぶたね」代表)
 - 申込締切：定員になり次第締切
 - 主 催：NPO法人アフタースクールぱるけ
 - 連 絡 先：TEL：022-778-8666 FAX：022-707-0057
E-mail：npo.paruke@ab.auone-net.jp
URL：http://homepage2.nifty.com/paruke/

5/24 第45回仙台子どもまつり

「子どもが子どもらしく遊べるように」との願いを込めて始まった手づくりの「子どもまつり」。元気に跳ねまわったり、昔ながらの遊びに触れたり、広々とした自然の中にあそびの「ひろば」がいっぱいです!

- 日 時：5月24日(日)10:00~15:00
雨天順延5月31日(日)
- 場 所：三神峯公園(仙台市太白区三神峯1)
- 参 加 費：無料
※会場での寄付にご協力ください。運営経費は、個人、団体の募金でまかなわれています
- 主 催：第45回仙台子どもまつり実行委員会
- 連 絡 先：TEL:022-262-5102

5/29 つるがや元気会健康講座～医食同源のすすめパートIII 「コーヒーとお茶があると健康食品がよく効く」

コーヒーとお茶は、カフェインとポリフェノールを同時に含む貴重な飲みものです。我々の先祖は何故この2つを世界の飲みものとして選んだのでしょうか?何故、食事と共に飲むのでしょうか?今年はこの謎に迫ります。

縦覧中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分3月11日~4月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
大崎タイムス福祉部	大崎市	寄附金の配分による福祉の増進を図る事業ほか4分野	3/27	
Synapse40	大崎市	地域の社会資源を結合させながら、志教育(キャリア教育)の推進を図る事業ほか8分野	3/30	

新たに認定(仮認定)NPO法人を取得したNPO法人

- 仮認定/麦の会(宮城野区)
- 認定/みやぎ発達障害サポートネット(青葉区)
- 認定/地星社(岩沼市)

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分3月11日~4月10日 仙台市所轄分3月11日~4月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
スポーツコミュニケーションかくた	角田市	角田市において、スポーツ教室等の運営及び各種スポーツ大会の開催等を行うもの	3/26	
Links	宮城野区	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく相談支援事業	3/18	
きらきら発電・市民共同発電所	泉区	市民参加型の太陽光発電など自然エネルギーによる発電事業 自然エネルギーの普及促進に関する情報収集及び広報事業 食物用放射線測定器による放射線測定事業等	3/26	

宮城県のNPO法人数 **784**団体 (宮城県等所轄:372団体 仙台市所轄:412団体)
※2015年4月10日現在

5/15

「パレスチナを知る!」連続学習会(第2期)

「パレスチナ問題って、よくわからない」、「宗教が絡んでいるの?」、「どうしてアメリカはイスラエルをひいきしているの?」そんな声を時々耳にします。そんな疑問を持つ方のために、当会では第2期の連続学習会をスタートします。お気軽にご参加ください。

- 日 時：すべて金曜日 18:30~20:30
①5月15日 ②6月19日 ③7月17日
- 場 所：①・②エル・パーク仙台 セミナー室
③エル・パーク仙台 和室2
(仙台市青葉区一番町4-11-1 141ビル(仙台三越定禅寺通り館5階))
- 定 員：30名
- 参加費：200円
- 申込方法：事前申込み不要
- 主 催：パレスチナと仙台を結ぶ会
- 連絡先：石川行政書士事務所
TEL：022-251-3106
E-mail：musubukai@yahoo.co.jp

5/16

おしゃべりの杜 ～障がいを持っているみなさん、一緒に ピア・カウンセリングをしてみませんか?～

ピア・カウンセリングは、障がいのある人同士で行います。自分の話をしたり、相手の話を聞いたり、自分を肯定的に見ることができる「ほっと」した場にもなります。自分のやりたいことや仲間も見つかるかもしれません。ぜひご参加ください。

- 日 時：5月16日(土)
ゲスト：川畑 昌子氏(CILもりおか)
7月18日(土)
ゲスト：和田 英人氏(CIL青森)
8月上旬 交流会
※他、10月、12月、3月の第3土曜日
- 場 所：グッドライフ長町内8階 コミュニティールーム
(仙台市太白区長町1-6-3)
- 定 員：3~5名程度(初めて参加する方も大歓迎)
- 参加費：300円
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
お申込み時、氏名(ふりがな)、性別、年齢、所属団体、参加希望日、連絡先住所、TEL・FAX・E-mail、障害名(等級)、障害種別(身体・視覚・聴覚・言語・その他)、補装具(手動車いす、電動車いす、松葉杖、なし、その他)、サポートが必要かなどをお知らせください
- 主 催：CILたすけっと
- 連絡先：〒982-0011 仙台市太白区長町1-6-1
TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp
blog：http://blog.canpan.info/tasuketto/

5/16

ホントの国際語って ようこそ、エスペラントへ

国や民族の違いに関わらず、人と人とが対等の立場で交流することのできる国際共通語エスペラントをご存知ですか?私たちがエスペラントを使って行っているさまざまな国際交流の様子をご紹介します。

- 日 時：5月16日(土)13:30~15:30
- 場 所：仙台市市民活動サポートセンター
(仙台市青葉区一番町4-1-3)
- 内 容：・エスペラント語って?
・どう使う?どう学ぶ?
・話してみよう、聞いてみよう。
・質問コーナー など
- 説 明：仙台エスペラント会 会員
- 対 象：どなたでも
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催：仙台エスペラント会
- 連絡先：TEL/FAX：022-389-1620(担当：手塚)
E-mail：esperanto@goo.jp

5/20

「宵の口」から始まる「話す場」話さナイトカフェ

リラックスした状態で話し合うトークカフェ。5月のテーマは、Happy Kitchen〜一緒に作りましょ♪盛り付けよう♪食べよう♪良いアイデアが浮かんだり、新しい方と出会う機会、ぜひお越しください。

- 日 時：5月20日(水)18:30~21:00
- 場 所：大崎市まちづくり支援センター「きらっと」
(大崎市古川米倉字屋敷42-1)
- 定 員：20名(先着順)
- 参加費：500円(飲み物・軽食付)
- 申込方法：軽食の関係上、要予約
- 主 催：NPO法人おおさき地域創造研究会
- 連絡先：〒989-6134 大崎市古川米倉字屋敷42-1
TEL：0229-25-9956
E-mail：mail@otsk-kiratto.org
URL：http://otsk-kiratto.org/

5/23

印刷物での情報発信はパワーポイントで デザイン+パワーポイント講座

市民の情報発信に必要なデザイン・レイアウトの基礎を学ぶと共に、実際にPCを使用しながら、パワーポイントによるデザインに必要なワンランク上のテクニックを学びます。

- 日 時：5月23日(土)10:00~13:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講 師：デザイン講師：真山 正太氏
(グラフィックデザイナー)
パソコン操作講師：千葉 浩二氏
(ITメディアオペレーター)
- 内 容：デザインの基礎とパワーポイントでのタイトルづくりを同時に学びます
- 定 員：20名(事前申込先着順)
- 参加費：2,000円(当日会場にてお支払いください)
- 持 ち 物：Powerpoint10以降がインストール済PC
※PC貸出有。貸出料500円(台数に制限有)
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：TEL：090-3049-0613(担当：千葉)
FAX：022-224-5308
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

- 振込口座：七十七銀行泉支店 普通 5842689
- 口座名義：せんだい杜の子ども劇場
東日本大震災こども支援基金
代表理事 斎藤純子(サイトウ ジュンコ)
- その他：「舞台鑑賞準備金」
「子ども達のために鑑賞の機会を設ける寄付金」
として、会員・一般の方に募っています。下記
郵便口座へご協力をお願いいたします。
◆郵便口座番号 02270-3-65839
※会費振込口座と同じです。振込用紙の備考欄
に「鑑賞」とご記入ください
- 応募主体：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：〒981-3133 仙台市泉区泉中央4-17-1
TEL/FAX：022-375-3548
E-mail：morinokodomo@s8.dion.ne.jp
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

住友商事 東日本再生ユースチャレンジプログラム[2015] -インターンシップ奨励プログラム-

このプログラムは、被災地で活動しているNPOを活動現場とし、長期にわたるユースのインターンシップ活動を応援するものです。復興へ向け、地域に寄り添い活動しているNPOで長期にわたって関わることができる機会です！

- 活動期間：2015年7月1日(水)～2016年3月31日(木)
(9ヵ月間で200～300時間)
- 対象：ユース世代(大学生/大学院生/専門学校生など)、主に20代まで
- 奨励金：活動1時間あたり800円(上限300時間)
- 定員：7名程度(5つの受入団体に各1～2名)
- 申込方法：所定の応募用紙に記入の上、下記連絡先まで申込み
※受入NPO、活動カリキュラム、応募など詳細はWEBサイトでご確認ください
<http://civilfund.org/youth-challenge.html>
- 申込締切：2015年4月25日(土)～5月15日(金)当日必着
- 連絡先：宮城現地協力団体 NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター(担当：今野)
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27
岡元ビル7階
TEL：022-264-1281 FAX：022-264-1209
E-mail：minmin@minmin.org
URL：http://www.minmin.org/

事業案内

未来のための苗木をつくろう

生活や農業に大きな役割を果たしてきた「おらほの森(防潮

林)」が東日本大震災で大きな被害を受けました。「おらほの森」を一から創り上げるため、将来、防潮林として沿岸に植える苗木づくりに、一緒に取り組みませんか。

- 日時：・5月15日(金)9:00～16:00
・5月16日(土)9:00～11:00
※一部の時間帯のみの参加も可能
- 場所：亶理郡亶理町泉ヶ入付近
(6号線沿いの葬儀屋水仙郷の北の道を西に直進)
- 内容：苗植え、除草、苗畑整理などが中心
- 持ち物：軍手、飲み物、タオル、帽子
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
申込み時、希望活動日、動機、氏名、連絡先(TELまたはEmail)をご記入ください
- 主催：NPO法人わたりグリーンベルトプロジェクト
- 連絡先：〒989-2331 亶理郡亶理町吉田字原306-16
TEL/FAX：0223-35-7735
E-mail：info@watari-grb.org

イベント

5/10 5月 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士でわかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：◆石巻会場 5月10日(日)【毎月第2日曜日】
・時間：14:00～16:30
・場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- ◆仙台会場 5月16日(土)【毎月第3土曜日】
・時間：14:00～16:30
・場所：あしなが育英会仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
- 対象：大切な方を亡くされた方(死因は問いません)
- 参加費：無料(事前申込不要)
- 申込方法：申込不要
- その他：今後の各開催場所については変更する場合有、チラシ、ホームページなどでご確認願います
- 主催：NPO法人仙台グリーンケア研究会
- 連絡先：〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内
TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2015.4.16現在) 敬称略

●正会員 50名

<仙台市> ●堀川晴代

●賛助会員 77名

<仙台市> ●堀川晴代

会員募集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	-□ 3,000円
賛助会員NPO	-□ 5,000円
賛助会員企業・団体	-□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 **02250-0-43800**

加入者名 **特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる**

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

4月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

Piccoli せんだい 運営サポーターになりませんか?

2015年9月に開催する「こどもがつくるまち『Piccoli せんだい』2015」をはじめ、企画・運営に関わってくれるサポーターを随時募集しています!

- 活動日時:【サポーター会議】毎週木曜日19:00~21:00
※3月以降はサポーター内で調整
【子ども会議】毎月第2・第4日曜日14:30~16:30予定
- 活動内容:・企画/イベント当日や子ども実行委員による会議の企画・運営
・広報/ホームページやFacebookの更新、サポーターや参加する子どもの募集活動
・渉外/企業への協賛依頼、学校や協力団体との調整
・会計/助成金の申請など
- 催事予定:こどもがつくるまち「Piccoli せんだい」2015
9月20日(日)、21日(月・祝)、22日(火・祝)
会場:仙台市宮城野区文化センター
(宮城野区五輪2-12-70)
- 申込方法:下記連絡先まで問合せ
- 募集主体:NPOピコセンサポーター事務局
- 連絡先:〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町14-15
TEL/FAX:022-296-6056
携帯:080-2823-0872
E-mail:piccolisendai@gmail.com
URL:http://picosen.webcrow.jp/

国際交流に興味のある人集まれ! 外国人のボランティア募集

『宮城医療ツーリズムの会』は、がん検診(医療受診)、観光、機関誌発行の3本柱に活動している団体です。今回、機関誌発行にあたって、日本語、中国語、英語を活用して一緒に活動して下さる方、お待ちしております。

- 活動内容:1.編集・和訳・図面・PC情報・チラシ作成などできる方
2.留学生の今までの情報レポート発信や、これから海外派遣ボランティアに参加して情報レポート取材に行きたい方
※スキル確認後、有給ボランティアとさせていただきます
- 申込方法:氏名、住所、連絡先(E-mailまたはTEL)、志望動機を明記(書式自由)し、連絡先のE-mailまたは携帯電話(佐々木:080-1670-5261)へ連絡
- 募集主体:宮城医療ツーリズムの会
- 連絡先:〒980-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ内(レターケースNo.29)
FAX:022-256-0533
E-mail:h.sasaki.4777@ezweb.ne.jp

写真洗浄ボランティアおよび 写真データ化作業ボランティアを募集中!

東日本大震災以降、がれきの中から集められた写真や思い出の品々を洗浄し、持ち主に返却する活動を続けています。大切な思い出をお返しする作業のお手伝いをしてくれるボランティアを募集しています。

- 活動日時:毎週木・金・土曜日9:50~16:00
(詳細は下記URLをご確認ください)
- 活動場所:仙台市若林区六丁の目元町13-20
- 活動内容:写真の洗浄作業およびデータ化作業 など
- 持ち物:汚れてもいい服装(エプロン可)、昼食、飲み物
- 申込方法:下記URL「お問い合わせ」ページから申込み
<http://www.omoide-kaeru.com/>
※初めての方は3日前までにご連絡ください
- 募集主体:NPO法人おもいでかえる
- 連絡先:〒984-0014 仙台市若林区六丁の目元町13-20
元町HTビル201号室
TEL:070-5473-3585
(木・金・土の10:30~15:30)

日常業務のお手伝いボランティアを募集しています

日常業務のさまざまな仕事のお手伝いをお願いします!
MELONはたくさんのボランティアスタッフに支えられ活動しています。あなたの空いた時間を活用してみませんか?

- 活動日時:平日10:00~18:00(何時間でも大歓迎)
- 活動場所:MELON事務局
(仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階)
- 活動内容:資料の準備、発送作業、整理など
- 申込方法:下記連絡先まで都合の良い曜日や時間帯をTEL・FAX・E-mailのいずれかでお知らせください。お願いしたい仕事がある時に事務局からご連絡します
- 募集主体:公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク(MELON)
- 連絡先:〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45
フォレスト仙台5階
TEL:022-276-5118 FAX:022-219-5713
E-mail:melon@miyagi.jp/melon/
URL:http://www.melon.or.jp/melon/

お知らせ

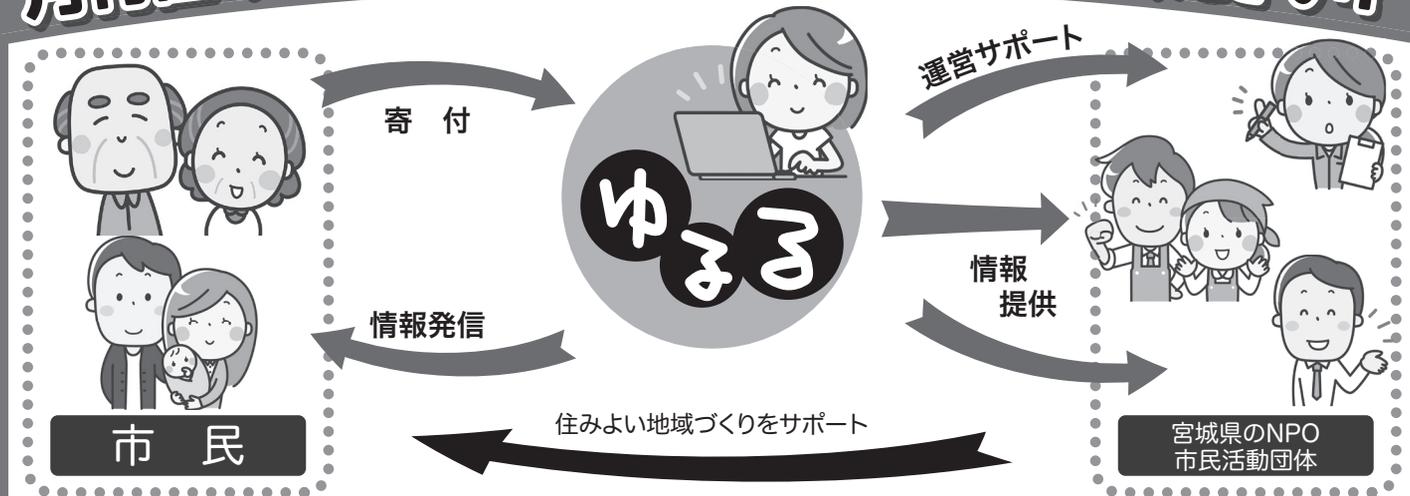
「東日本大震災子ども支援基金」 ~子どもたちに、明日への勇気と希望を!~

文化や芸術が子ども達の心を癒し、明日への勇気と希望になることを届けたい!という思いから、「東日本大震災子ども支援基金」を開設しました。どうぞご支援ご協力をお願いいたします。



みやぎのボランティア 市民活動情報誌

月刊杜の伝言板ゆるるの発行を応援してください!!



杜の伝言板ゆるるは、住みよい地域づくりの実現に向け、宮城県内の市民活動団体やボランティアに関わる情報の収集・発信を主軸に活動する認定NPO法人です。

市民活動を支える月刊情報誌は1997年の創刊以来、皆様のご寄付と応援のおかげで、毎月欠かさず発行を続けています。

これからも地域の担い手である市民活動団体が活動しやすく、市民の皆様が市民活動やボランティアに興味を持ち、参加しやすい環境づくりをサポートできるよう、様々な情報を発信して参ります。温かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む)は、
税制上の優遇措置(寄付控除)の対象となります

当法人を応援して下さる方のご寄付は、こちらから受けつけております。

お振込み先 【郵便振込口座】02250-0-43800
【加入者名】特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

一時的なご寄付のほか、継続的にご寄付という形で「市民活動に参加したい!」
という賛助会員も募集中です!! ※会員申込については、P14をご参照ください

NPO会計のことなら 会計サポーターにお任せください!



NPO会計に通じた会計サポーターがあなたの団体を訪れ、団体のミッションを達成できるように、団体の状況に合わせて、会計を応援します。



会計サポーターとは?

長年の企業会計・経理経験を持ち、NPO法人会計基準を学んだ有償ボランティアです

【サポート内容】

※税金関係の相談は除きます

- ・会計やお金の管理
- ・仕訳や帳簿の作成に関するアドバイス
- ・会計ソフトの導入支援
- ・活動計算書、注記、貸借対照表等の財務諸表作成のサポート (ほか)

【サポート費用】

1団体3回、平成27年6月30日まで無料
※ただし、派遣回数80回に達し次第終了
※1回あたり3時間まで(派遣地域によっては2時間まで)
※派遣に要する実費交通費は、ご負担頂きます

【お問い合わせ】

会計サポーターに関する詳細についてのお問い合わせ、サポートのご依頼は杜の伝言板ゆるるまでTEL、メールにてお寄せください

